

「協働が根付いた東近江市」とはどんな姿か？ 将来イメージについて話し合いました

前回の第3回東近江市市民協働推進委員会では、「協働・参画していく上で、東近江市ではどういった強み・弱みがあるか」について、住民側・行政側の視点に立って、グループごとに話し合いました。

10月12日（金）開催の第4回の委員会では「協働が根付いた東近江市」とはどんな姿か、将来像及びキャッチコピーについて、グループごとに意見を出していただきました。今回のニュースレターでは、その第4回目の委員会の様子を紹介します。



「第4回 東近江市市民協働推進委員会」報告

最初に、事務局・委員長のあいさつや、ワークショップの趣旨説明及び前回出た意見の紹介をしました。



委員会の流れ

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 オリエンテーション
・ワークショップの趣旨説明
・前回委員会で出た意見を紹介
- 4 ワークショップ開始
- 5 グループごとに発表
- 6 委員長による総括
- 7 次回の日程調整
- 8 閉会

ワークショップでは、「協働が根付いた東近江市」とはどんな姿か、将来像及びキャッチコピーについて、意見交換を行い、グループごとに発表をしました。



各グループの意見及び委員長による総括について

「協働が根付いた東近江」の将来像を話し合い、そこからキャッチコピーを考えました。今回は、これをもとに、実現に向けた取り組み等を検討していきます。

Aグループ

協働が根付いた東近江市の将来像

- ・共に助け合っている
- ・行政との信頼関係ができています
- ・市民の声が活かされている
- ・イベント・行事に主体的に参画している
- ・お互いに安心している
- ・市民と一緒に健康づくりに取り組んでいる
- ・行政が市民の事業を支援している

キャッチコピー

「もちつ もたれつ、
お互いさま！」



市民と行政の信頼関係があり、共に助け合えるまちというイメージに、「共に」「お互い」「支援」「一緒に」というキーワードを込め、このキャッチフレーズにしました。

Bグループ

協働が根付いた東近江市の将来像

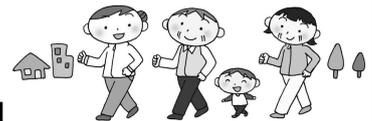
- ・市として誇りや礎、根底となるものがある
- ・市民がまちに関心をもって活動している
- ・欲しい情報が集まる市民センターのような拠点がある
- ・市民と職員が話し合える場がある
- ・市民の発想を取り入れる行政の仕組みがある
- ・大人気の市民交流活動サイトがある
- ・市民がまちづくりに投資できる
- ・自分たちにできることは自分たちでしていく

キャッチコピー

「今日どう？」

きょうかん
と言える共汗できるまち

人・物・情報を活かした誇りあるまちづくり



協働をもじって「今日、みんなどう？」と声を掛けられ、困ったときには「共に汗をかける」そういうまちをイメージしました。

Cグループ

協働が根付いた東近江市の将来像

- ・ボランティア、NPOの活動が活発で、各グループの交流が盛ん
- ・気軽に使える公共の場がある
- ・相互理解が深まり、個人として認められる社会
- ・民間企業も地域のことを考えている
- ・情報発信・情報公開があり、市民が情報の受信をできるための場がある
- ・市民の意見を集約できる場所がある

キャッチコピー

「それぞれの色を
織りなすまち 東近江！」



森であったり、いろんな色がハーモニーを奏でる七色の虹であったり、光をたくさん浴びて光合成をして生き生きするような葉脈であったり、それらがボーダレスに繋がっていくというイメージからつけました。

委員長総括

今回は難しいテーマで、たくさんの意見が出るのか心配をしていましたが、こんなにも幅広い意見を出していただき、大変おもしろく聞かせていただきました。今回議論に出てきたことが、一つでも実現してくると、ワクワクすると思いませんか。今回は、もう少しこれを具体的にどうすればできるのかということを考えていきたいと思えます。

タイトルのコラボは、「共に働く」、「協力する」を意味するコラボレーションから名付けました

詳しくは、市ホームページ(<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/0000003247.html>)に
会議録を掲載しておりますのでそちらをご覧ください。

東近江市 企画部 まちづくり推進課

〒527-8527 東近江市八日市緑町10番5号

TEL:0748-24-5623 IP番号:0505-801-5623 FAX0748-20-0855